



第80巻 第1号  
年4回発行  
社会福祉法人 慈生会  
〒165-0022  
東京都中野区江古田3-15-2  
TEL 03-3387-5567  
http://www.jiseikai.jp  
振替口座 ベタニアの家  
00170-6-15317

希望と課題

シスター・松本 圭世

主イエス様の御降誕と新年のお祝詞を申し上げます。昨年中皆様からいただきましたご支援、ご指導に心から御礼申し上げます。

昨年二月頃から「新型コロナウイルス感染症」の世界状況の中で、毎日、それぞれ置かれた場所での「対応」「課題」に取り組んできた日々でしたが、まだ先の見えない中で新年が始まりました。人類を脅かす感染症のパンデミック（世界的大流行）は紀元前の昔から歴史を変えるほどの影響を及ぼしてきました。天然痘・ペスト・スペインかぜ・アジアかぜ・香港かぜ・エイズ・結核・マラリアなど、改めて「課題」を問いかけています。ただ私たちは、前を向き歩みたいと思います。今の状況は必ず「終息の日が来る」のは確かです。歴史の中の感染症の経緯を見ながら、人間の力をはるかに超えた

「宇宙の創造主」を知ることができないのではないのでしょうか。

世界的な地質学者、科学者、イエズス会士であったティヤール・ド・シャルダン（一八八一〜一九五五）には多くの著書がありますが、『神の場』では、その中心テーマを「人生のいかなる時も、つまり、明るくて喜ばしい時も、暗くて苦しい時も、いや、死を前にした時にも、つねに共にいてくださる神に気づき、その愛の動きを全人的に受け止め、主のみに一致していく過程を書き綴っていくことである」と書いています。

また、ティヤールの著書『宇宙のなかの神の場』には、「地球上いたるところで進む自然破壊、軍拡競争、民族や宗教間の対立による様相を呈している。この相互不信を克服するためには新しい世界観、新しい地球観がどうしても必要である。こうした新しいビジョンに立ってこそ、対立と不信の時代から和解と共生の時代への方向転換を実現していく手が

かりがつかめるのではあるまいか」とティヤールは「地球の精神」の誕生を促し続けていました。

今から百四十年前に誕生したティヤールは、今の時代を見据えていたのです。破壊されている自然、気候変動：立ち上がって危機を訴え活動している人々…ごみ問題：難民問題：「課題」は私たち一人ひとりの心の中にあります。たとえ小さなことであっても世界を変える力になることを信じて私たちにできることに取り組んでまいりましょう。

その昔、アシジの聖フランシスコが体験したと同じように、ティヤールは、神と結びついた深い体験を窮めてきたので、世界が神から出発して光を放つのを見ることができたこと書かれています。和解と共生の時代への方向転換の実現に向けて、小さな行為、困っている人を助けるなど、何かできることを探し新たな歩みを始めましょう。私と隣人との平和は、国と国との平和につながります。「生きている地球」、「生きている宇宙」の声を聴き、気候変動による「地球の苦しみ」を、私たちの「課題」と捉え希望をもって歩めますよう願っております。

(慈生会理事長)

謹んで主のご降誕と新年のご挨拶を申し上げます、皆様の上に豊かな恵みをお祈り致します。

社会福祉法人 慈生会

理事長 Sr・松本圭世

役職員一同

徳田保育園

中野トータルサポートセンター

ベタニアホーム・慈しみの家

ベタニア・デイ・ホーム(月)(星)

中野北ベタニア訪問看護ステーション

慈生会中野ケアプランセンター

ベタニアヘルパーステーション

中野区江古田地域包括支援センター

ナザレットの家

ベトレヘム学園

聖家族ホーム

聖ヨゼフ老人ホーム

慈生会清瀬ケアプランセンター

ベトレヘムの園病院

マ・メゾン光星

指定相談支援事業所 ノエル

放課後等デイサービス エスポワール

学校法人 東星学園

(幼・小・中・高等学校)

理事長 Sr・田代嘉子

教職員一同

ベタニア修道女会

総長 Sr・田代嘉子

姉妹一同

ベタニア修道女会 誓願式

父なる神の愛に包まれて

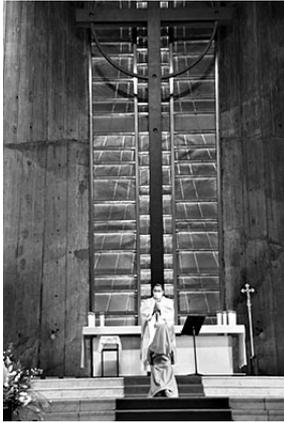
シスターテレサ 川鍋 真澄

二〇二〇年十月十六日聖マルガリータ・マリア・アラコクの祝日に菊地功大司教様(カトリック東京大司教区)の司式のもと、終生誓願宣立の恵みを頂きました。

当日は雲ひとつない晴天に恵まれ喜びの時となりました。これは父である神の恵み、皆様からの祈りの賜物と心より感謝致します。

今年にはコロナウイルス感染症という未知の恐怖が世界を見舞い、今まで当たり前のように過ごしていた日常が様変わりしました。誓願式も例外ではありませんでした。

本来ならば、お世話になった多くの方々と一緒に所属教会である徳田教会で誓願式が行われるのですが、フィジカルディスタンスを余儀なくされる中、会場にもゆとりが無く、総長様が大司教様にご相談下さいました。その結果、なんとカテドラル



聖マリア大聖堂で行われることになりました。あまりに大きな会場に身が竦む思いでしたが、これはきっと父なる神の愛の現れなのだと感じ、心は恵みで満たされました。

今年の流行語は「3密」になりそうな程耳にします。少しネガティブな印象を持ちますが、今回の誓願式はポジティブな「3密」と感じました。それは慈生会・徳田教会・修道会の「3密」です。そこには多くの有志の方々のご奉仕に支えられての温かな「3密」があったように思います。私たちの会は『協働という新しい視点で』という目標に取り組みています。誓願式も、この『協働』の歩みの一つであったのではないかと、見えない神のご計画のしるしではと申うのです。フィジカルディスタンスも、人と距離をと言われますがその距離がある程、隣人を想う心は強くならないでしょうか。創立者の言葉が心に響きます。『ほんとうにイエス様を見ていれば必ずその人たちの靈魂のことを考えて助けることができます。イエス様は貧しい人びとの父でいらっしゃる。それで私どもは貧しいイエス様と共にその人たちのお世話をするのです。』この言葉をこの時はっきりと受け取ったように思います。父なる神の愛に包まれて新しい一步を踏み出した今、私は小さく貧しいものですが、この社会の中で苦しむ人びとと共に生きるようにとの主からの招きに、愛をもって応え、生涯忠実に歩み続ける決意を新たにしました。

主の恵みを受けて

シスターフランシスカ 齋藤 美紀

十月十六日に、初誓願宣立のお恵みを頂きました。神様の導きと皆様のお祈りのおかげと感謝しています。ありがとうございます。

誓願式では、神様の深く温かな愛に包まれているようで、とても幸せな時となりました。

派遣された場所で、今までの出会い・これからの出会いとともに、多くの方との関りを大切に過ごしたいと思えます。また、ベタニア修道女会のカリスマを心に留め、いつも共に居てくださるイエス様に信頼し、主が備えてくださる「ベタニアの道」を一步一步大切に、歩んでいこうと思っております。引き続きお祈りくださいますようお願い申し上げます。



Sr. 川鍋



Sr. 齋藤



「ベタニアの家」の  
同伴者として新たな旅立ち

大倉一美神父

二〇二一年、明けましておめでと  
う御座います。昨年より世界中に蔓  
延している新型コロナウイルスは年を越して  
も未だ収束する気配がありません。  
このような状態でみなさまも三密を  
避けて新年を迎えたことでしょう。

久しぶりにこの「瑠璃草」に拙文  
を書いている私、大倉一美神父は、  
昨年の十一月一日をもってカトリッ  
ク徳田教会の主任司祭を引退いたし  
ました。その後の司祭としての職務  
として、菊地功東京大司教よりベタ  
ニア修道女会のチャプレン及び慈生  
会の協力者として任命を受けました。  
これから私の新たな旅立ちが始まり  
ます。徳田教会の隣の「ベタニアの  
家」の敷地内におります。

ここで簡単ですが自己紹介をさせ  
ていただきます。私は一九三四年生  
まれ、戦前、戦中、戦後の日本を生  
きてきた後期高齢者の一人です。太  
平洋戦争が勃発したとき私は国民学  
校一年生で、学童疎開の最中に八月  
一五日を迎えました。幼児洗礼の信  
者でありながら、皇国少年でした。  
戦争と捕虜収容所生活のトラウマか  
らか、復員したばかりの父が自死し  
たことよって私の家は悲惨な状態  
に陥りました。私たち家族を救って  
下さったのはフロジャク神父さまで  
した。このかんの経緯は一九九九年  
の「ベタニアの家」創立七〇周年の  
「瑠璃草」一二月号に「少年〇のフ

ロジャク神父の思い出」に詳しく記  
しています。

フロジャク神父は皇室から御下賜  
された那須の御料地に引揚者たち、  
失業者たちのために牧場、無医村の  
ために診療所と修道院を建設中であ  
った。この那須で母が働くよう勧めら  
れ、私たち兄弟は清瀬の「東星学園」  
で寄宿と勉強をすることになりました。  
「ベトレヘムの園」で司祭への召  
命を感じ、江古田の「ベタニアの家」  
から高校に通学し、東京教区の神学  
生として東京カトリック神学院に入  
学しました。一九六三年に司祭叙階  
の恵みを受け、西千葉、次に徳田、  
清瀬、小岩、町田、清瀬の諸教会を  
経て、二〇〇三年に徳田教会の主任  
司祭の任命を受け以後一七年にわた  
って今日に至っております。この徳田  
教会で司祭叙階五〇年を迎えること  
ができたことも徳田教会の信徒たち  
はじめ、「ベタニアの家」のみなさ  
ま方の助けとお祈りのおかげだと心  
から感謝しております。今後ともど  
うぞ私のためお祈りをお願いいたし  
ます。

(ベタニア修道女会チャプレン)

マ・メゾン光星

変身!! マスカレードフェス

実行委員長 大賀 翔平

今年度は迎え、光星祭の実行委員で  
「今年にはどのような事をやろう?」  
「十月頃には感染者数も落ち着いて  
いるだろう」等と安易な考えを巡ら

せていました。

しかし、緊急事態宣言が発令され、  
自粛生活により生活様式が大きく変  
わり「ソーシャルディスタンス」、  
「3密」等の新語が生まれました。  
七月の第一回目の実行委員会前に、  
多くの人が集まる可能性や飲食を伴  
う等、新型コロナウイルスに対して  
高リスクであると判断し、今年度の  
光星祭は中止することとなりました。

光星祭の代替えとして、ご利用者  
に楽しい時間を提供するため、新し  
い行事を企画する事となり、どのよ  
うな事をしたらご利用者が喜んでく  
れるかと実行委員会で議論を繰り返  
しました。また、実行委員の意見が  
煮詰まった時には、多くの職員から  
様々な提案を頂きました。その結果  
「皆で仮装をしたら面白い」、「自分  
達の手で時間をかけ、仮装道具の作  
製、発表構成を考えたら喜びもひと  
しおになる」、「部署対抗で、順位を  
競ったら盛り上がる」との案を取り  
入れた「変身!! マスカレードフェ  
ス」の開催が決定しました。  
各部署で劇やダンス等の演目を決定  
し、楽しみながら仮装道具を作る姿、



熱心に練習す  
る姿が見られ  
ました。日を  
追うごとに、  
ご利用者、職  
員が協力し、  
本番に向かっ  
て一つの物を  
作り上げてい  
く熱を帯びて  
いく喜びが伝  
わってきました。

当日は晴天に  
恵まれ、フェ  
ス会場に集ま  
った皆で、互  
いの仮装をま  
まじと見て、  
笑顔で褒め合  
う様子が見ら  
れました。発  
表が始まると、  
それぞれが工  
夫を凝らし、  
堂々とした発  
表を披露して  
くれました。

観る側も、発  
表に釘付けで、  
各発表が終わ  
ると万雷の拍  
手が長々と響  
きわたり、ご  
利用者も職員  
の笑顔で会場  
が満ち溢れていました。終わった後、  
沢山のご利用者から「楽しかった」  
「面白かった」「来年は優勝したいね」  
等の温かい言葉をいただき、楽しい  
時間を過ごしていただけた様に感じ  
ました。

現在、ご利用者の皆様には多くの  
我慢をお願いしておりますが、「コ  
ロナの時は大変だったね。けれどマ  
スカレードフェス等、楽しい事が沢  
山あったね。」と、大変だったこの  
時期を楽しく振り返れる様に行事の  
企画やレクリエーションを実施し、皆  
で一緒に忘れられない思い出を作っ  
ていきたいと思っております。

(生活支援員)



ベタニアの家

一月行事予定



- 1日 ☆神の母聖マリア
- 1日 ☆世界平和の日
- 1日 《元日》
- 3日 ☆主の公現
- 7日 東星学園 新年ミサ・職員研修
- 8日 東星学園 始業日
- 10日 ☆主の洗礼
- 11日 《成人の日》
- 11日 ベトレヘム学園 新成人お祝い会
- 13日 聖家族ホーム 開設記念日
- 16日 東星小学校 第4回入試
- 20日 慈生会 理事会
- 22日 東星高校 推薦入試
- 24日 ☆神のみことばの主日
- 29日 東星学園 理事会・評議員会
- 31日 ☆世界こども助け合いの日

二月行事予定

- 1・2日 東星中学入試第1・2回
- 2日 ☆主の奉獻
- 3日 ☆福者ユスト高山右近殉教者
- 10日 東星高校 一般入試
- 11日 ☆ルルドの聖母
- 11日 ☆世界病者の日
- 11日 《建国記念の日》
- 17日 ☆灰の水曜日
- 18日 ☆聖ベルナデッタ祝日
- 21日 ☆四旬節第一主日
- 23日 《天皇誕生日》
- 1日 東星学園 高校卒業式
- 5日 ☆性虐待被害者のための 祈りと償いの日
- 10日 慈生会 理事会
- 12日 東星学園 小学校卒業式
- 13日 東星幼稚園 卒園式
- 13日 徳田保育園 卒園式
- 13日 聖家族・聖ヨゼフホーム 合同慰霊祭ミサ
- 19日 ☆聖ヨセフ 合同慰霊祭ミサ
- 19日 東星学園 終業式
- 19日 東星学園 永年勤続者表彰
- 20日 《春分の日》
- 20日 ベタニアホーム 合同慰霊祭ミサ
- 25日 ☆神のお告げ
- 25日 慈生会 評議員会
- 26日 東星学園 理事会・評議員会
- 28日 ☆受難の主日(枝の主日)

三月行事予定

お知らせ

令和二年より、「ベタニアの家」へ頂いたご寄付は、寄付金控除の対象となりません。

瑠 璃 草

(人類愛は国境を越えて)

不老若

私は日本へきて三十年宣教師として働いて居ります。天主様の思召しで結核事業の為に努める様になったのでありますが、時として日本人であつたらば！と自分で考える事もあります。亦ある時は神父様は永く日本に居られるから日本化したらどうです、と言われます。けれども天の思召しでフランスと云う国に生まれたのであつていつまでも其の国籍は抜けぬ筈であります。

只カトリック司祭として働く場所は日本と定められたので心から此の国を第二の祖国として、また此の国の土となる決心で居るのであります。自分の祖国を愛するのは当然であつて自分の国に対して恥ずかしく思うのは愛国心が無いと日本の方も感ずるのであります。私にとって此の国は永い間の親しい處であつて日本を愛することは自国に対してすまぬ事だとは思いません。益々人類愛の為にベタニア事業の為に盡す決心で居ります。

(昭和十四年五月より抜粋)

編集後記



昨年十二月、ホームの近隣にある「江古田もりのいえ」で活動しているNEROキッズの子どもたちと一緒にスマスコンサートをお願いしていたのですが、コロナの影響で一時的に中止に、ところがNEROキッズの皆さんの提案により、Zoomでのコンサートを開催することになりました。(この原稿を書いているときは開催前です。)

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。(中村 英男)

毎年十一月三日は、どんぐり祭として誰もが楽しみにしている行事で中止になることなく続いていた行事も、コロナ禍の中やむなく中止とすることをいたしました。

中止にはなりましたが学園内で、できることではないかという事で園内の子どもたちを対象でミニバザーとしてお菓子やおもちゃ、バルーンアート、ゲームコーナーを用意して少しの間でしたが楽しむことが出来ました。(関 広宣)

昨年一年間、「今日は何の日?」という環境情報カレンダーが会の中で毎月発信されました。情報発信テーマは「大地の叫びと貧しい人びとの叫び」ともに聴き、ともに声を上げ、ともに行動する」で、すべてのいのちをまもることにつながる記念日を取り上げられ、個々に説明がありました。

人類の幸せのために、国連がいろいろな取り組みの記念日を制定してあります。教会等も含め八十二の日があります。

互いに助け合い祈り合つて、今年も希望のうちに視野を広げ、他者に向かつて自分を開いていきたい。(Sr中野 利恵)